

事務事業マネジメントシート(令和 4年度実績と令和 5年度計画)

令和 5年 6月15日更新

事務事業名	子育て短期入所生活支援事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連				
総合計画	政策	2	福祉の健康		所属部	健康福祉部	課長名	衛藤 和博	
体系	施策	4	子育て支援の充実		所属課	子育て支援課	担当者名	小西 咲子	
	施策の柱	16	子育てと仕事の両立支援		所属班	子ども家庭班	(内線)	1186	
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	根拠法令	合志市子育て短期支援事業実施要綱		
	一般	3	2	4	10574				
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 4年度で終了 <input type="checkbox"/> 4年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	児童福祉法に基づき、保護者の疾病等の理由により家庭での児童養育が出来ない場合、または経済的な理由で緊急一時的に母子を保護するために事業が開始された。保護者の疾病、経済的な理由による緊急一時的な保護（ショートステイ）と夜間、休日等に児童を養育することが困難な場合に保護（トワイライトステイ）を実施している。事業の委託先は児童養護施設等で、当初は市内の2施設だったが、平成20年度より近隣市町も含めショートステイ7施設、トワイライトステイ8施設に委託している。
【業務の流れ】	(1) 利用施設委託契約業務 ①短期支援事業利用施設との打合せ ②事業施行伺い ③利用施設委託契約伺い ④委託契約書締結 ⑤短期支援事業報告書受付、審査 ⑥短期支援事業委託料請求書受付、審査 ⑦委託料の支払 (2) 施設利用の受付業務 ①利用希望者からの相談受付 ②短期支援事業利用券交付申請書の受付、審査 ③利用券交付決定伺い ④年間利用券交付 ⑤利用施設へ交付者名を通知 ⑥利用申請書受付、審査 ⑦利用決定伺い ⑧利用決定通知書
【主な予算費目】	委託料
【意見や要望】	平成19年度までは利用がなかったが、近年は保護者の共働きや労働・家庭環境の多様化により児童養育の要望が多くなってきている。虐待防止や養護の観点から緊急時に対処できるように対処しておく必要がある。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分
①手段(主な活動) 4年度実績(4年度に行った主な活動)(DO)	5年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
相談事業の中で各関係課等と連携を図り対応した。(利用児童数1人) 【基準に達しなかった理由】登録者は多かったが、新型コロナウイルスの影響により利用者が少なかったため。	昨年度と同じ
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
ア: 保護した児童数	人
イ:	
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
保護者の疾病その他の理由により家庭で養育することが出来ない児童・経済的な理由により緊急一時的に保護が必要な母子	(単位)
	ア: 18歳以下の児童数
	人
イ:	
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
児童及其の家庭の福祉が向上する。	(単位)
	ア: 保護した児童数
	人
	イ:
*③成果指標設定の理由と 5年度目標値設定の根拠	
相談者に対し、適切に対応できた成果を計ることができる。	
総トータルコスト 全体計画 ～ 年度	
0	

(2) 各指標・総事業費の推移	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標	人	0	4	5	1	5	5	5	5
② 対象指標	人	14,287	14,363	14,600	14,780	14,700	14,800	14,900	14,900
③ 成果指標	人	0	4	5	1	5	5	5	5
投資	国庫支出金	千円		45	33	2	33	33	33
	都道府県支出金	千円		22	33	2	33	33	33
	地方債	千円							
	その他	千円							
	繰入金	千円							
	一般財源	千円		1	34	4	34	34	34
入費	(A) 事業費計	千円	0	68	100	8	100	100	100
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
	(A)のうち時間外、特別	千円	0	0	0	0	0	0	0
	(B) 人件費計	千円	157	156	159	152	167	167	167
量	正規職員従事人数	人	2	2	4	2	4	4	4
	延べ業務時間	時間	40	40	40	40	42	42	0
トータルコスト(A)+(B)	千円	157	224	259	160	267	267	267	100

事務事業名	子育て短期入所生活支援事業	所属部	健康福祉部	所属課	子育て支援課
-------	---------------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は4年度の事後評価、ただし複数年度事業は4年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 4年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	② 5年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 他課の相談窓口等で本制度についての周知・案内が進んでいることによる利用申請件数の増。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 保護者の疾病等の理由により家庭での養育が一時的に難しい児童を養護施設等で受け入れることで、家庭の福祉向上につながる。契約施設の空き状況に左右される。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 国の制度であり他に類似する制度が見当たらない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 相談件数の増加から、事業費の増加が見込まれる。
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 事前相談・受付・審査事務に職員が対応した。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 児童福祉法に基づき、子育て短期入所生活支援事業を開始し、合志市子育て短期支援事業実施要綱を制定し基準通りに実施している。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 【前年度内容】 【前年度内容】 国の制度であり、移行はできない。

3 評価結果の総括 (CHECK)

近年は保護者の就労や労働の多様化・養育に関する相談窓口の増加から申請に関する相談が増えてきている。他の支援事業も含め必要な保護が適切に受けられるよう関係各課と連携を進めていく必要がある。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						